

読書バリアフリー研究会 アンケート回答

日 時 2025年2月1日（土） 午前10時00分～午後4時30分

会 場 大阪市立中央図書館

参加者 126名／アンケート回収98名

1. 今回の「読書バリアフリー研究会」をどちらでお知りになりましたか。

図書館内での案内・ちらし	21	
友人・知人の紹介	20	
新聞・雑誌	14	読売新聞 2、
ウェブサイト	12	財団 HP 5、図書館 HP 2
DM	10	
メールリスト	5	SLA 2
SNS	2	
その他	14	勤務先 7、学校、教育委員会 など
合計	98	

2. よろしければ、ご所属をお知らせください。

図書館員	23	
学校司書	20	
ボランティア	13	
教諭	12	
保護者・ご家族	4	
その他	26	大学関係者、図書館関係者、特別支援関係者 など
合計	98	

3. よろしければ、参加地域をお知らせください。

大阪市内	25	
大阪府（大阪市以外）	44	
その他	29	兵庫県 12、京都府 4、奈良県 4、愛媛県 2、和歌山県 2 埼玉県、島根県、東京都、三重県、未記入
合計	98	

4. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満	未記入
83	15	0	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・「インクルーシブ天文学」というものをはじめて知った。3Dのブラックホールや点図を目を閉じて触る経験ができて良かった。知的障害者への対応をほとんど知らなかったので、深く学べたのが良かった。この機会をいただけて良かったです。 ・DAISY図書やさわる図書を実際に手に取って見ることができただけでなく、読書バリ

アフリーのもっと根っこのところと言うかインクルーシブの意味をじっくり考えることもできてとてもよかったです。

- ・ 先ずは個人的な理由から、小生今年で 80 才の老人です。たまたま配布チラシでなんとなく参加しました。メインの報告者嶺重先生が京大におられたと聞いて小生も北部キャンパスで学生生活をすごしていましたので、とても親近感を感じました。そして「インクルージョン」という言葉はかすかに知っていましたがまさか「天文学」とむすびつけてお話しくださるとは予想もしませんでした。その話の対比の妙には感心しました。そして部厚いレジュメをいただき感謝のことばもありません。ますますお元気で話をおひろめください。
- ・ 『天文学は「インクルーシブ」概念と親和性が高い』というお話が大変興味深く今まで考えたことがなかったので、お話がとても面白く勉強になりました。新しい視点をもたらしたように思います。マジョリティとマイノリティの考え方もとても納得できました。多数派、少数派という視点がすでにおかしいと思っていたからです。読み書き障害についての説明もとても分かりやすく問題の捉え方が理解できました。
- ・ 障がいそのものについてはもちろん、困り感についてよく考える機会になった。当たり前前に享受してきた読書体験を、誰もがそれぞれの形で受けとれるようになったら…嶺重先生の「読書により人は「ことば」を取り戻すそして自分自身を取り戻す」という言葉が印象的だった。藤澤先生の卒業後の本とのかかわり方、読書環境の保障について見据えた考え方にはっとさせられました。
- ・ 天文学と絡めたおはなしの意外性に驚き、ディスレクシアに関するお話も具体的データの紹介により、分かりやすい内容であったと思われまます。
- ・ とくに学習障害の読み書き障害についてのおはなしが、とてもよかったです。中学校で特別支援教育サポーターとして働いていますが、いろいろと思いつぶることがあり、私達が知らないことで子どもたちの才能、未来をつぶしてしまうこともあるかも…と思いました。今日おはなしを聞くことが出来て、本当によかったと思います。インクルーシブ天文学、とても興味深くきかせていただきました。
- ・ 嶺重先生の天文学の視点からの読書バリアフリーのご講演がはじめての知見が多く興味深かったから。河野先生のご講演では読み書き障害の人の困り事がよくわかり勉強になりました。嶺重先生の 3D プリンタのブラックホール、土星の点字には特に感動しました。
- ・ 字幕がとても見やすかった。スライドのプリント集を頂戴しました。著者と伊藤忠記念財団に大変感謝申し上げます。
- ・ 「インクルーシブ天文学」という概念をはじめて知りました。回触された模型や図、「読書バリアフリー」小冊子もありがとうございました。
- ・ 成松先生の講演はとても興味深いものでした。読書バリアフリーについていろいろと学んでいきたいと思います。
- ・ 読書バリアフリーが、現社会にすすめていく必要がある事項、取り組みである理由がよくわかりました。わいわい文庫や、読書工房さんのめじろーブックスなど、読書の楽しみ、おもしろさが広がる取り組みすばらしいと思いました。
- ・ 学校にわいわい文庫を今年度おわり頃に入れてもらったのですが、その活用、使い方のヒントをいろいろ頂けたのがよかったです。読み書き障害について、具体的にお話をして頂けたのも、とても良かったです。最近『奇跡のフォント』という UD デジタル教科書体誕生にまつわる本を読んでとても面白かったので、このフォントがお話にでてきたのもうれしかったです。
- ・ 読書バリアフリーについて様々な角度から講演いただき、とても参考になりました。マジョリティとは「すでに配慮されている」人々のことというお話が特に印象深かったです。読み書き障害のある子どもたちへの読書サポートのお話は図書館員としてだけでなく当事者の母としてもお聞きできてよかったです。
- ・ 特別支援学級によみきかせをされており、選書にいきづまりを感じていたが、おぼろげに

感じていたことを学術的に補強していただけて自信がもてました。

- ・LLブックの使い方がわかったのでさっそく実践してみたいと思います。
- ・特別支援学校の教員として、知的障害の子どものための支援方法、教育方法をもっと知りたいため大変参考になりました。
- ・ピクトグラム付の絵本など知ることができた
- ・読み書き障害の目の動きなど、読みの困難さのしくみがわかった
- ・小・中学校の学校司書（中学2校小学校1校の兼務）です。午前中は、視覚障害の方が対象のお話が多く今一つ実感がわきませんでした。が、知識として聞けてよかったです。午後からは、正に来週からでも使えるお話ばかりで、とても参考になりました。ピクトグラム入りの本や写真だけの本、来年度の予算で購入したいです。LDの子の疲れやすさ、不登校、気になる子がたくさんいます。職場でひろめます。
- ・「オレ、本読んだら疲れんねん」「読まれへんねん」という児童には「にゃんこ四字熟語」や図鑑、「世界一美しい月の教室」等をすすめます。ありがとうございます。週1日か2日勤務の司書では、リーディングトラックを置いてあげる位しかできなくて。担任の先生に話しても「あいつはねえ、やったらできるんですよ」と言われることも多いです。今日から私も学んで困っている子の助けになれるよう励みます。来てよかったです！！
- ・知的障がいの方やディスレクシアの方への障がい者サービスのあり方についても幅広くお話をきくことができたので、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・発達障害、知的障害の違い、なぜ文字を読めないか理論的に分かった。全国図書館大会、府立研修、財団のオンライン研修にもなく、非常に勉強になった。
- ・マルチメディアデイジーに限定せず、幅広く障害者支援の情報が手に入りました。特に河野先生のディスレクシアの説明はわかりやすく、理解が深まりました。わいわい文庫をずっと使っています。今後ともよろしく願いいたします。
- ・河野先生のお話が大変わかりやすく参考になりました。また成松先生のお話が現在の仕事に大いに参考になると感じました。そして嶺重先生、藤澤先生のおはなしで初めての気づきがありました。ありがとうございました。
- ・河野俊寛先生の講演は特に興味深い内容でした。とても勉強になりました。また講演資料も充実していました。そういった理由から、「満足」しました。
- ・自分の中でぼんやりしていたことを教えていただくことではっきりさせることができました。インクルーシブの考え方や、読書バリアフリーの重要性など、興味深くて、時間があっという間にすぎました。長女は知的障害をもっていて、現在学校司書として働いているので有難いお話を伺うことができて貴重な経験になりました。ありがとうございました。
- ・資料が充実していました。いろいろな種類の本を紹介していただいて良かったです。河野先生のお話たいへん役に立ちました。
- ・資料が非常に分かりやすく、また実際のお話も具体的に説明してもらえたので、あっという間に時間が経過した感じです。特に“読み書き”の困難さについては、目からウロコの情報も多く、現在の仕事やボランティアの活動にも、とても意味のある内容ばかりでした。
- ・テーマのバランスもよく、バリアフリー全般に関する話が聞けたので。とくに河野先生の講演に感銘を。
- ・図書に関する内容以外にも、読み書き障害に関することなど、幅広く知ることができ、有意義な時間だったため。
- ・読み書き障害について具体的に知ることができてよかった。新たな知識を得ることができた。
- ・読み書き障害のある子どもを担当しています。今まで頑張ればできると励ましていました。本日学習したことを生かしてその子に合った学習方法で接していきたいと思いまし

- た。もっと私が勉強しなければならないと痛感しました。とても勉強になりました。
- ・読書に困難がある人にどのようにアプローチしていけば良いか考えるヒントをたくさん教えてもらえました。読み書きに障害があるということの認識も違っていたことがわかりもっと勉強していかなければならないと感じました。全体を通してとても勉強になりました。
 - ・時間が足りなかったのが（かけ足になる部分があったのが）少し残念というかもっと聞きたかったです。でも資料も充実していて、大画面のスクリーンも見やすく、何より興味深いお話が聞けて大変勉強になりました。もっと学校関連の方にこのような講座を聞いて欲しいと思いました。ディスレクシアについて、未だに理解がない（知らない）先生がいらっやって、困っているお子さんの話を聞きますので。保護者の方も目のトレーニング教室などに通わせたり、ものすごくたくさん読み聞かせをしましたが、読むことを拒否してしまい（学校の先生のサポートもあまり得られなかったのもあり）映像（YouTubeなど）ばかりを楽しむようになりました。
 - ・デイジー図書よりもアニメなどの方が楽しくてそちらの方ばかりに行きます。字を読むこと自体を拒否してしまった子に本をすすめるのは、ちょっと難しいです。
 - ・勤務館での取り組みのふり返りができ、また取り組みができていない課題がみえました。
 - ・同僚とシェアして業務にいかすべき内容がたくさんありました。
 - ・4年前に司書講習を受講した際は、LLブック、デイジー図書にふれる授業がありました。ですので存在は知っていましたがどのような知識をもって読書バリアフリーを考えるか、それを広げるかが学べました。
 - ・新しく知ることができたことが多くあった。
 - ・以前より興味のある分野で、このような場で色々な話をきかせて頂き、とても勉強になりました。仕事で目の見えない、見えにくい方向けの電子書籍を作ることにはたずさわっているので特に。私自身も幼少の頃は読み障害があったのかも…？と思いに至りました。
 - ・色々な角度からのバリアフリーのお話がきけてとてもよかったです。
 - ・音訳ボランティアを始めたばかりの初心者です。読書バリアフリーの必要性和意味について、分かりやすいお話で、知識を深めることができました。ありがとうございました。
 - ・各講座とても充実していた。
 - ・各分野での専門的話が聞けたこと。
 - ・学童期や学校教育だけでなく、地域の図書館等での読書や成人後のことについて話を聞くことができた。
 - ・具体的な支援の仕方を聞け、これからの自身の職場などで活かせると感じたから。支援の必要な人の具体的な声も学べたから。
 - ・具体的な事例から本の紹介まで幅広く読書バリアフリーについて知ることができ大変勉強になりました。又、展示コーナーでは本の閲覧ができるのも良かったです。
 - ・具体的な日々の図書館業務に役立つ内容でした。様々な視点からの多様な内容で勉強になりました。
 - ・現在、公共図書館からお借りして、小学校で活用させていただいているから。
 - ・講師の方の説明が分かりやすく理解しやすかったです。実際の子と重なる部分があって、分かりやすかったです。今回参加してよかったです。
 - ・困っている人の個々への対応を知りました。インクルージョンとかバリアフリーという言葉は知っていましたが具体的にどのような対応を考えられるか知りませんでした。どのように出来るかとスタッフで話し合っていこうと思っております。有難うございました。
 - ・最新の動きを専門の先生方からおききできたから。
 - ・様々な支援方法、ツール（教本の種類・タイプ）等を知ることができ良かった。ありが

とうございました。

- ・様々な読書支援があることを具体的に知ることができたことと、マルチメディア体験ができたことが非常に参考になりました。これだけの内容の濃い講演会が無料というのは驚きであり助かります。
- ・様々な分野の専門家である先生のお話を聞くことができ、読書バリアフリーについて多角的に視点をいただくことができました。引きつづき、勉強していきたいです。
- ・実践や体験にもとづいた内容のお話で、理念とともに事例も豊富でわかりやすく、大変勉強になりました。
- ・知らないことが多く大変勉強になりました。
- ・少しずつ自分にできることを考えるよい機会になったと思います。大人の方に対してのサービス、あまり考えてこなかった部分でした。ありがとうございました。
- ・全体の概要がよく理解できた。
- ・それぞれ基本的な概念からどうすれば良いかという可能性を考える良い機会になりました。要約筆記もあって良かったです。ありがとうございました。
- ・それぞれのご専門の分野から豊富な経験をもとにわかりやすく有用なアドバイスをくださり、とても参考になりました。
- ・楽しく参加でき、活用できる所が多くありました。自分自身に置きかえて考えることもできました。
- ・多様な内容について基本的な情報から最新の情報まで様々な事例も含めてお話しただけで大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・著名な方が一堂に会し、幅広い内容で知識を深めることができたため。基本的な知識もおさえることができた。
- ・デージーについて学校図書室に導入しようと思っていたところの研修会であったので、とても役に立った。読書バリアフリーの様々なヒントをいただいた。ありがとうございました。
- ・読書バリアフリーに関する情報が多方面で提供されていた。
- ・読書バリアフリーに関連する資料の棚を準備しようという話が出ていたので今日の講座を参考にしようとしていたので、色々なお話が聞けて良かった。
- ・読書バリアフリーについて、興味はあったものの、勉強する機会がなかなか無かったので、今回色々な視点から専門の方のお話を聞くことができ、貴重な経験になったと感じました。学校司書として活かせる機会があればと思います。
- ・読書バリアフリーについて、多面的に学ぶことができ、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・読書バリアフリーについて、初めて知るきっかけ、考えるきっかけになりました。困り事をかかえている子どもたち(人たち)にも、何かサポートできることはないかと思う一方で、具体的にどうすれば良いのかわからず、前に進めない気持ちでしたが、今回お話を聞いてたくさんのヒントがいただけました。
- ・読書バリアフリーは、学校現場で特別支援学級の支援をしていると必要な読書支援と考えています。まだ、学校図書館での実践には至りませんが、みんなでしっかりと考え、連携して、よりよい学校図書室を作っていきたいと思いました。
- ・読書バリアフリーをテーマにインクルーシブの考え方からインクルーシブ天文学、バリアフリー図書、知的障害のある方の読書支援のあり方や手だて、読み書き障害の方への理解とサポートと、盛りだくさんながら、今後の読書支援をしていく上でとても勉強になりました。マルチメディア DAISYをはじめ、点字シールを使った本、LLブックやイラスト、ピクトグラム、写真などを使った本、さわって楽しむ本など今まであまり知らせてなかったので、知らせ、紹介する、読む支援を現場でとり入れていこうと思います。
- ・どのテーマも大変わかりやすかったです。

- ・内容が豊富で興味深かった。共感できる内容が多かった。
- ・普段、勤務先で障がい者担当をしていますが、どうしても視覚障がい者に偏りがちになります。今回の研修で幅広い知見を得られ理解が深まったように思います。
- ・有益なお話を聞かせていただき自分の勤める学校図書館で役立てればと思いました。
- ・このような機会でないと話が伺えないような方たちの見解に触れられたことが最も大きい。また、私は音声情報の処理が苦手なため、要約を画面にてリアルタイムで確認でき大変助かった。
- ・普段、未就園児や子育て支援での絵本講座などしており、ある場所では障害をもった子が針治療などされているところで読み聞かせをしています。その子たちに利用できる書籍の紹介などとても参考になりました。
- ・自分の思い込みを振り返ることができました。学校図書館としてもお子たちのだれ一人として取り残すことのない図書館に成長していきたいです。自分に出来ることを探していきたいと前向きな気持ちになりました。
- ・わいわい文庫マルチメディアデジター図書を寄贈していただき、学校図書館で利用させていただいています。生徒を通して保護者にも伝えられるとあらゆる人にとってもバリアフリーにつながると思いました。嶺重先生の講演はすごくわかりやすく、楽しいご講演でした。自分達がむずかしくとらえてしまっていたこともあったなーと思いつつ「当事者中心の語り」、ことばを奪われているという思いを抱えている生徒の声を教職員と連携して心配りしたいと思いました。「ことばと自分を回復」大切にしたいと思えます。
- ・成松一郎先生のお話を伺いたくて受講しました。先日飯田一史さんの講演を聴講しました中高生はスマホ読書をしている。書籍売上減≠読書離れの話をしていました。大人こそ本を読まないといけないなと思いました。「これも学習まんがだ！」のおかげで学校図書館のマンガ理解が深まっています。
- ・まんがについて、高校生でまんがのコマ順、吹き出しを読むのが苦手という生徒に紹介したいと思いました。特にスマホでまんがを読む生徒は縦書き(?)のまんがに慣れているので紙のまんがが苦手。TikTokなど動画に(ショート)慣れていると、自分でコマを追うのが苦手という声も聞いています。LL まんがのガイドラインマニフェスト参考になりました。
- ・代読ボランティア養成講座について、テキスト紹介ありがとうございます。ボランティアに参加されている方(年齢層など)はどういう担い手が多いのかな?介護現場との連携はないのかな?と思いました。
- ・公共図書館と特別支援学校の利用体験ツアーについて、県内でも行われているのか気になりました。学校の取り組み、特別支援学校の取り組み、互いに情報共有が必要だと思いました。
- ・読み書きの困難(60代の知人で)について、「書き」の困難をかかえていた人がスマホのメールで文章を送ってきて、当初は「ください」「ください」と書いていたのが、いまや漢字を見事に使いこなしています。ただ文字を書くというのは今も苦手。デジタル機器で代替できるんだと改めて思いました。子ども達の支援に周囲が気づけるようゆとり(教師や保護者)があればいいのにと思いました。音声ソフトなど様々な支援の形が大事だと思いました。

やや満足の理由

- ・一部以前に受講した内容があったから。
- ・知的障害のある方々へのサポートがためになりました。色々な資料をそろえて学校のコーナーを作りたいと思いました。
- ・4番目講師の河野教授の話しがとても分かりやすく、私にとってとても為になるお話で良かったです。
- ・いろいろな研究、取り組みの概要がきけてよかったです。限られた時間ではありますが、河野先生のお話のように具体策がもっときけると明日から活かせる!!と感じる講演

会になるのではないかと思います。本を読むことに困っている子どもを早期にみつけ一人でもサポートできるようにしていきたいです。

- ・公共図書館に勤務しています。当館では、読書バリアフリーを考え、りんごの棚のようなコーナーの設置を検討しています。今回の講座で学んだことを活かし、設置していければと思います。とても参考になりました。
- ・今回の読書に関するバリアフリーという題名を見て、以前保育園の現場で障害を持つ子を受け持ち、この子たちにも楽しい絵本の世界に入ってもらいたいと思っていたので、どのような方法、手段があるのかと思い参加させていただきました。今は「おはなし会」という形で子どもと関わっていますが、障害を持つ子どもたちへの対応の仕方など、又勉強していかなければと思いました。
- ・読書に対する様々なバリアを知ることができました。まずはその分野について知ることから、の立場でたくさんのことを学ぶことができました。
- ・読書バリアフリー研究会のレジュメの文字が小さくて読みづらく、時間の都合上仕方ないとは思いますが、スクリーンのスライドの切り替わるスピードが早く、少し混乱しましたが、内容としましては読書×バリアフリーに関する事柄に触れることができ、とても勉強になりました！
- ・読書バリアフリーの概要は理解できましたが、知的、読み書き障害など個別の課題ごとに深掘りしたお話をもっとお聞きしたかったです。
- ・図書館員ですが、図書館が喫緊に取り組まないといけない課題が明らかになってよかったです。
- ・母が障がい者のための器具を開発したりする仕事についていて、私も学んで見たいと思い参加させていただきました。様々なことがしれて、日常に役立ったり、誰もがよりよい暮らしになったらいいなと思いました。

5. 今後ご希望される「読書バリアフリー」に関する講座やテーマ、その他、ご感想などがありましたらお書きください。

- ・学校と図書館の地域連携について
- ・知的障害のある児童、生徒の読書
- ・学校でダイジー文庫を活用する方法
- ・代読や対面朗読をする際のノウハウ等
- ・マルチメディアダイジーなどの導入方法についてなど
- ・LLブックの活用法など
- ・マルチメディアダイジー製作が全て有料かつ複雑になっています。昔は「ワード」で作れたはずなのですが、何か新しい動きあれば特集して下さい。
- ・外国から来た子どもたちが増えてきています。その子たちへの日本語指導に適した本の紹介をしてほしいです。
- ・外国につながる子どもたちへの支援に関する講座などがあるとありがたいです。
- ・各分野の、実際の現場の様子、事例を、生の声で聞ける機会があれば有り難いです。利用者の声、それに対する対応、その後など具体例が多ければ多いほど。心に残ります。そして想像力を働かせて、より広く深く理解できるようになるように思いました。
- ・学校（支援学校以外）の図書室でバリアフリーの活用方法を知りたいです。
- ・学校図書館の読書バリアフリー実践例などを教えていただけたら幸いです。（まずは、そのような棚、コーナー作りからなのか…あえてそのような別置きをしないほうがいいのか…。）
- ・学校図書室（公立普通校）、支援学級に特化した講座があるとうれしいです。

- ・活用例を知りたい。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・河野先生の話をもっと聞きたいです。
- ・具体的な活動について、公共図書館のお話を伺いましたが、特別支援学校や学校の特別支援学級での実践も聞いてみたいです。
- ・今回アーレンシンドロームについてのお話がありませんでした。以前（奈良の会場で）アーレンシンドロームを初めて知る機会を頂き、その後大変参考になりました。できれば今後も触れて頂ければと思います。
- ・今回は視覚的な弱さ読み書きの弱さのある方へのサポートへのことが中心だったようですが、音声、例えば耳できくおはなしなどが理解しにくい、苦手だということもあるのでしょうか？そんな子どもたちへのサポートなどもあれば知りたいです。
- ・座学だけでなく、実地の研修も取り入れていただきたいです。（実際の障がいをお持ちの方の生の声なども聴いてみたいです。）
- ・様々な障害についての特性や可能性を知りたい。
- ・様々な読みへのサポートがどのような効果をもたらしているか、実態調査などがあれば知りたい（読むのが楽しくなったとか速度が速くなった等々）。出版業界の読書バリアフリーの取り組みやその課題。
- ・支援学級だけでなく、通常級にいる、読み書きに困難さをかかえた児童への支援や、具体的な困難さをみつけるテストのやり方。
- ・自館で取り組めることを考える講座があるとうれしいです。図書館同士でつながりが作れるとよりよいサービスへのヒントになりそうです。
- ・実際に現場でどのように1人1人とかかわられているのか、その様子を拝見させて頂きたい(それぞれの現場で)。生まれつき障害をもって生まれた子が絵本に出会いそして継続してきたら、このように本好きになったとか、このような親子の関係が出来ているなど聞かせて頂くことが出来れば力になると感じました。いろいろな障害がわかることで一人一人の支援のあり方があるのだと勉強になりました。
- ・実際に図書館やその他施設でのバリアフリーの資料などの活用法を教えてほしいです。
- ・実践例など、どんな症状の児童にどのような本や資料を与えたかなど。読書バリアフリーの実践例などの発表。
- ・手話を第一言語とする人々への、日本語書きことば習熟のための初歩的な方法は模索されているのか？
- ・精神障害者についてのサービス
- ・多文化サービス（図書館）
- ・知的障害に関する読書バリアフリーについての深掘したお話を聞いてみたいです。
- ・ディスレクシアの人の全てがビジョントレーニングでうまくいくわけではない、とのことでしたが、ビジョントレーニングの話もきいてみたいです。
- ・読書バリアフリーをすすめていく中で、支援機器の活用の成功事例や、今後どのような支援機器が求められているのか当事者の声を知りたいです。
- ・図書館から、障害をもたれた方へのアプローチ法、読書サポートがあることをアピールする方法の具体例を知りたい。
- ・図書館でのイベント、展示、利用等での情報保障、合理的配慮
- ・図書館にはこのようなサービスが必須であるなどのお話がきけたらもっとよかったと思いました。「読書バリアフリー計画について」がテーマにあってもいいのかなと思いました。
- ・布絵本の制作、管理方法の例、著作権の問題など具体的に知りたい。
- ・発達障害、特に読み書きの障害について、またおはなしを聞きたいです。具体的にどのような支援があるか例をあげてもっと教えていただけたらうれしいです。

- ・発達障害の子どもたちへの支援について
- ・役立つバリアフリー的装備のしかた（デイジー、点字、マルチメディアデイジー、その他 バリアフリー図書）
- ・読み書き障害のタブレットを使った実践的な支援を具体的にお話聞いてみたいです。わいわい文庫の申し込みをしてみたいと思います。
- ・読み書きに困難さのある子どもは低学年から学習意欲が低くなってしまっている子が多い。読書が好き、楽しい→学習意欲へつながったような事例があれば、紹介してほしい。
- ・手話に関する講座があればお願いしたい。
- ・多言語電子絵本レインボーの会の多言語絵本を読書バリアフリー体験セットで体験し、先生方に好評でした。教材として活用したいとご要望いただき活用させていただくことになりました。ぜひこちらの取り組みも知りたいです。
- ・代読音訳ボランティア、布の絵本制作(ボランティア?)の方の声を聴きたいです。布の絵本は高校生にも好評なので、作り手になってもらえる生徒がいたらなと思います。オーディオブックも便利ですが、声の力がすごいなど、間、リズム、息づかいなどボランティアの方の体験談も伺えるといいなと思いました。
- ・アンケート事後提出可能なように QR コードがあれば、振り返った感想もお伝えできるかなと...ご検討よろしく申し上げます。
- ・ディスレクシアについてもう1度おきぎしたい。またこのような企画があれば DM やメールで知らせていただきたい。新聞記事だと見落とすことがありますので。
- ・電子書籍、音声資料の利用状況、活用法など、質問はなしか短めでいいかと。
- ・当事者の方のお話が聞きたいです。困り事、解決策（図書館との関わりなど）など。
- ・マイクの音量がききやすかったです。（軽度難聴、補聴器使用）
- ・いろいろなことがしれてよかったです。また、私は学生ですが学校への講義をしていただけたらなと思います。
- ・講座の情報が HP に UP される期日が、私にとっては遅く「もうすでに勤務シフトが決定していて参加出来ない」というパターンばかりなので、残念なことが多いので2~3ヶ月前に一度告知して、更にもう1度通常（1ヶ月くらい前の）の告知をしてくれると、非常に有り難いです。（なので LL ブックの講座も情報を入手した時は”時すでにおそし…”でした）
- ・ぜひオンラインでも参加できるようにしてほしいです。読書バリアフリーは西の方が盛んなような気がします。
- ・インクルーシブ天文学として読書バリアフリーへの貢献、点字シール、ガイドラインのマニフェストのある LL マンガがあることを初めて知り、話もとても興味深く面白かったです。読書バリアフリーの広がりや展望を感じた内容だったと思います。今後も本日のような内容の研究会を期待しています。ありがとうございました。
- ・講座の内容はとても有意義なものでした。少しずつですが、図書館の障害者サービスを充実させていければと思っています。
- ・公立の地方の小学校図書室での読書バリアフリーは、読み書き困難な子どもたちにとっても有効だと思います。実践発表や、先生方の研究、大変参考になりました。
- ・障害者、LGBTQ の方、高齢者の方、外国の方が普通にすごせるコミュニティにずっといました。そういった方を「かわいそう」「特別」と思う方とあまりかかわってこなかったのが、意見交換をしてみたいです。
- ・ダイバシティのためのすばらしい企画でした。これからも頑張ってください。応援しますから。
- ・タブレットでお話を聞かせてもらいました。初めてでよかったです。が、私は疲れます。絵と字と読んでいる場所がカラーのラインで移動。画面がごちゃごちゃです。「もっと読みたい（聞きたい）」と思えるような美しさがあるといいのに…と思いました。わか

りやすさとそれを実現するのは難しいのかもしれませんが。実際利用される方とは違う視点からすみません。

- ・知的障害を持つ方、あるいは学習障害をもつ方が、読書バリアフリー支援資料などをどのように考えているのか、そのナマの声を直接うかがいたいと思っております。
- ・中央図書館の説明を受けたので利用しやすくなりました。
- ・初めて読書バリアフリー講演会に参加し、長い間このような活動をされていることに嬉しく思いました。私は広汎性発達障害者の親ですが、広汎性障害への読書支援が今後すすめば良いのにと少し残念に思いました（私の情報不足かもしれませんが）デジタル図書では、画面の絵や文字をクリックすればメモ機能で感情・状況・ルールなどの説明が出てくるようになれば理解がさらにすすむようになるのではないかと思い、講義をきいていました。息子には絵本でも他の本でも必ずスケッチブックを用意し一つ一つの状況をかみくだいて説明していました。又それがとても有効でした。これからの図書の発展をととても期待しています。
- ・バリアフリーに関するか、少しちがうかもしれませんが、読み聞かせするだけでなく、本人たちが誰かの役に立つような、よろこびを得られるような活動もあればと願います。たとえば本人たちが読み聞かせをするなどです。
- ・ピクトグラムの入った本の読みきかせや、休館日の障害者サービスを見学する機会があると良いと思う。
- ・要約筆記も実際に見ることができ、非障害者にとってもとても便利なものだと思います。ありがとうございました。
- ・公共図書館の障害者サービス担当者です。わいわい文庫とても助かっています。ありがとうございます！！先日も、利用者さんから「読みたい」と言われた絵本がちょうど収録されていて助かりました。
- ・音声で楽しんだり、良い映像コンテンツも最近は多くなりましたし、マンガ、アニメ、映画なども本のかわりになる？というか、あたらしい世界や知識を知ることによって変わりはないですね。本自体を読まなくても…とってしまう時もあります。（本にひたる楽しさは十分わかっておりますが）YouTubeも良いものもあると思いますが、おかしなものもあるので心配です。オーディブルも良いですが、お金がかかるので…。図書館のわいわい文庫、ありがたいです！が、オーディブルの方がエンタメ色があり楽しいようです。でも、わいわい文庫がもっと増えて、広まるといいなと思います。聞ける人は限られるので、手にしにくいですが…。それにしても、ボランティア頼みではなく（日本はボランティアに頼りすぎています）司書(学校)さんの配置も給料も安定するには、どうしたらいいのでしょうか…。